

心豊かな「すてきさん」づくり ～ えがお・げんき・あいさつ～
かんがえ、やってみる子 いたわり、助け合う子 せいいっぱいがんばる子 いきいきと元気な子



すくすく広場のチューリップ

開成町立開成幼稚園

たいよう通信

第1号

発行日：令和6年4月19日（金）

発行者：園長 杉山 孝史

新年度始まる

4月8日（月）、春休みを終えて子どもたちが登園してきました「園長先生、これ（折り紙の作品）あげる」「トイレがひとりのできるようになったよ」「おばあちゃんちに行って一緒にご飯を食べたよ」など、堰を切ったように子どもたちの口から次々に話が飛び出てきました。およそ2週間の休みでしたが、子どもたちは事故や事件に巻き込まれることなく元気に過ごせたようです。保護者や地域の皆さまのご配慮のお陰です。ありがとうございました。

この日の午前中に行った第1学期始業式では、一学年ずつ進級した年中と年長の子どもたちに1冊の本を読み聞かせしました。「あなたのすてきなところはね」という題名の絵本です。「ここにいてくれてありがとう」という絵本のしめくくりの言葉に続けて、開成幼稚園の子どもたちのすてきなところを3つ紹介しました。笑顔と元気、そしてあいさつのできることだと。

翌日の9日（火）、可愛らしい年少児が入園してきました。大雨の中での入園式（写真）でしたが、自分の名前を呼ばれたら返事をしたり、「さんぽ」の歌をみんなで歌ったりなど、和やかな式になりました。年少児が一日も早く幼稚園に慣れ、毎日元気に登園できるように支援していきたいと思えます。



この一年間、子どもたちはたくさん遊び、たくさんのことを学びながら成長していくことでしょう。保護者の皆さまには、幼稚園の行事などに進んでご参加いただき、子どもたちの成長を見守っていただけたらと思います。また、お子さんや子育てのことでお悩みのことなどがありましたら気軽にご相談ください。

今年度もよろしくお願ひします。

コミュニケーションの育成重視

昨年度に引き続き、今年度の教育目標を心豊かな「すてきさん」づくりとします。また、サブテーマとして新たに「えがお・げんき・あいさつ」を位置づけました。喜びや幸せの象徴である「えがお」、心身ともに健康である証の「げんき」、そして、コミュニケーション能力の育成を図るための第一歩となる「あいさつ」、これらを一年間大切にしていまいます。挨拶のよき実践者として、子どもたちに手本をお示しいただけると嬉しいです。皆さまのご協力をお願いします。

- 《教育目標》 心豊かな「すてきさん」づくり
～えがお・げんき・あいさつ～
- 《研究テーマ》 幼児が共に育ち合うための環境
構成や援助の工夫を考える
- 《職員モットー》 チーム開成幼稚園
「One for all, all for one.」
(一人はみんなのために、みんなは一人のために)

- 《めざす子ども像》 心豊かな「すてきさん」
- 《か》 かんがえ、やってみる子(知)
《い》 いたわり、助け合う子(情)
《せ》 せいいっぱいがんばる子(意)
《い》 いきいきと元気な子(体)

- 《めざす教師像》 人間力・教師力の向上
- 個の良さを引き出し、認め励ます教師
 - 感動・共感・挨拶のできる人間性豊かな教師
 - 保護者・地域の人と積極的にかかわり、信頼される教師
 - 親身になって子育て相談に応じる教師
 - 子どもの健康と安全に配慮できる教師
 - 実践をとおして互いの資質を高め合う教師

令和6年度 開成幼稚園職員

※職員一覧については、個人情報が含まれるため未掲載とします。



<たいよう通信について>

太陽のように明るく元気な開成幼稚園の子どもたちをイメージして、本紙のタイトルを「たいよう通信」としました。園歌からの引用です。園などで起きたホットな話題をギュッと凝縮して、マチコミで配信いたします。お時間のある時にお目通しください。



コミュニケーション

▼春は、別れと出会いの季節です。

3月には、82名の年長児が小学校へと巣立っていきました。そして先週、あどけない年少児44名が開成幼稚園に入園してきました。式の中で、『チンプイプイ』の呪文とともにウーロン茶を無色透明な水に変え、さらに紙コップに注いだその水がこつ然と消え去ってしまうマジックを披露しました。目を丸くして食い入るように見つめていた年少児の顔が実に印象的でした。▼ところで、初対面の場合、第一印象が大切であるとよく言われます。多くの人は、ほんの数秒の出会いの中で相手を価値づけ、ずっと先までそれを引きずる傾向があるようです。アメリカの心理学者メラビアンの唱えた法則によれば、人が影響を受ける要因として、話の内容などの言語情報が7%、口調や話の速さなどの聴覚情報が38%、見た目などの視覚情報が55%だそうです。もちろん話の内容は大切ですが、それ以上に表情やシエスチャーなどの視覚情報が相手に大きな影響を与えているようです。▼新型コロナウイルスの流行により、これまでのライフスタイルが一変しました。令和5年5月8日、感染症法における取り扱いが見直され、コロナウイルス感染症は5類へと移されました。これに伴い様々な規制が緩和されましたが、理由はともあれマスクで顔を覆う暮らしは消えていません。▼今年度の教育目標の柱の一つに「あいさつ」を掲げました。まずは、朝や帰りの時間帯において、気持ちの良い挨拶が飛び交う環境づくりに取り組んでまいります。やがては、挨拶や返事などの言葉のやりとりのみに留まることなく、心と心が通い合い相互理解を深めるコミュニケーション活動が、幼稚園や家庭、地域などに広がることを願っています。

